

U・Iターンコラム



内田 翔太さん (26歳)
= 荒土町新保 =



第7回目は、京都市出身で、昨年の4月に株式会社ニットク(片瀬)へ就職した内田さんにお話を伺いました。

▶株式会社ニットクを志望した動機は

福井大学に在学中、繊維の授業を受講し、その魅力を知り、将来は繊維関係の仕事に就きたいと思うようになりました。繊維というと衣類のイメージがありますが、株式会社ニットクでは、スクリーン印刷用メッシュ、様々なフィルターなど特殊な繊維を扱っており、そこに魅力を感じ志望しました。

お客さまはもちろん、社員を大事にする会社で、社内の雰囲気

気もとてもよく、働きがいがある職場です。

現在は総務の仕事をしていますが、いずれは開発にも携わってみたいですね。

▶勝山に住んで良かったことは

住む前は、不便なイメージがありました。景色がきれいで、福井市へのアクセスもよく、とても住みやすい街だと感じています。雪についても不安がありましたが、雪が降る地域だからこそ、雪対策がしっかりしているので、不安はないです。

お酒が好きで、特に一本義のお酒は美味しいですね。2月に開催される酒蔵まつりが楽しみです。これからは、仕事はもち

ろん、趣味のカメラや合唱など勝山での私生活も充実させていきたいです。

移住された方の通勤を支援します

市外の事業所(市境から片道20km以上)に通勤する方への通勤支援給付金があります。ぜひご活用ください。

申請期間▶1月末まで

お問い合わせは
ふるさと創生・移住課(市役所2階)へ
☎88-8130

お宅のみそ汁の塩分は大丈夫?

「突然ですが、あなたのお家のみそ汁の塩分を測定させてください!」

食生活改善推進員は、日ごろの塩分摂取について意識し、減塩につながることを目的に、地域のお宅を訪問し、みそ汁の塩分濃度を測らせてもらう活動を行っています。



各家庭で塩分濃度を測定した結果、約8割の家庭は、適塩の濃度でしたが、

塩分の取り過ぎは、高血圧に繋がり、様々な病気のリスクを高めます。濃い味付けや塩分の摂りすぎには、気をつけましょう。

測定をご希望の方や食生活についてご相談がある方は、健康長寿課までご連絡ください。

《健康相談日》
毎週水曜日は健康相談日です。お気軽にご相談ください。
時間▶午前9時~午前11時30分
ところ▶すこやかか
健康長寿課(すこやか内)
☎87-0888

《上手な塩分との付き合い方》
◆目標は、1日7gまで
福井県の食塩摂取量の平均は1日10g程度です。まずは、塩分を1g減らす工夫をしてみまじょう。
取組事例▶
・麺類の汁を残す
・みそ汁は1日1杯までにする
・漬物は小皿に決めた量だけ
・醤油やソースはかけない

《適塩の塩分濃度》
みそ汁1杯(150cc)で0.8%程度(塩1.2g)が適塩です。

教育会館 勝山公民館 展示コーナー

◆立壁真弓さんの和紙アート作品展

色とりどりの和紙を巧みに折り重ねて球体にし、それらを組み合わせて吹き流しにした作品です。和紙の特色による優しい風合いが感じられます。

展示期間▶1月20日(出)まで

◆杉下君枝さんの昭和の年賀はがき展

昭和にやり取りされた年賀はがきを展示します。時代を感じ、どこか懐かしい温かみを感じる文面をご覧ください。



展示期間▶1月22日(月)~2月4日(日)

☎ 勝山公民館(教育会館1階) ☎88-0800



行ってみよう 湯ったり勝山

12月のマイステージは、バイオリンの演奏会と落語でした。演奏会では、バイオリンの音色でクリスマス気分を味わいながら、穏やかな時間を過ごしました。また、芳野亭笑翁さんの落語では舞台道具を使った演出や観客との掛け合いがあり、楽しく観賞しました。



1月21日(日)は湯ったり勝山3周年祭を予定していますので、ぜひお越しください。

☎・☎ 地域包括支援センター「やすらぎ」(すこやか内) ☎87-0900

ふるさとを訪ねて

地域文化を掘り起こそう

10

今回は「年の市」を紹介し、例年1月の最終日曜日に行われる「年の市」について、「大野郡誌」には「師走の26日に本町通りで年の市が行われ、近郷山家の素人商人・町商人・旅商人を交え、早朝より定められた場所に忙しく店を出す。神仏の棚飾、年頭の縁起物、台所用具、下駄、その他食料品に至るまで街中に陳列する。これらを買求める四方から多くの人が集まり喧嘩を極める」と記されている。

正徳3年(1713)の志比原の史料には「当村近郷の市場は小笠原様の城下勝山と申所である」、文化8年(1811)の堀名中清水村の史料には「勝山城下では月に6回の市が立ちそこで万事諸商事が行われる」と記され、勝山町が近郷農村の経済の中心であったことがうかがえる。同町の延享5年(1748)の史料には年間の市について記され、「三月初日之市」「半夏生」続いて6月1回、7月3回、8月1回、「十

二月廿一日」「十二月廿六日之市」と9市が挙げられている。「年の市」は「ここで言う『廿六日之市』と、当初は呼ばれていたようである。始まった時期は明確ではないが、相当古い時代から旧暦の12月26日に開かれ、近郷から多くの人たちが集まるようになったのは幕末期と思われる。市は農閑稼として作られた藁製品や木工品を売り、一方で正月を迎えるための日用雑貨を買い整える役割を担っていた。明治末期の年の市の風景を「鹿谷民俗史談」は次のように描写している。「書出の来ている店々を支払に回るが、この日は支払が殺到するので、店でも玄関に鼎という大きな五徳を据え、甘酒の鍋をかけて沸かし、支払人に甘酒の供応をする。…本町通りには中央を流れている川の上に棧敷を作り、戸板を掛け渡したりして、色々の品を並べて売っていた。北谷あたりから出した木製品を販売する店が賑わっていた。…香具師も大勢来て今の神明様の前あたりから、長洲の新保屋さんの前まで、ずらりと露店が並び身動きの出来ない程の人通りであった。」

昭和52年の年の市の様子

前号文中の「武内芳契」は「竹内芳契」の間違いです。お詫びして訂正します。

人口の動き

	11月末現在	自然動態			社会動態			12月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	11,326人	5	-18	-13	18	-9	9	11,322人	-4人
女	12,443人	1	-18	-17	28	-20	8	12,434人	-9人
合計	23,769人	6	-36	-30	46	-29	17	23,756人	-13人
世帯数	8,014世帯							8,028世帯	14世帯

1月の納税
市・県民税▶第4期 国民健康保険税▼第4期
納期限▶1月31日(水) 口座振替▶1月26日(金)

交通事故発生状況
※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成29年12月末	前年比
総件数	491件	+68件
人身事故(うち高齢者)	27件(11)	+10件(+6)
死者(うち高齢者)	2人(2)	±0人(+1)
傷者	30人	+13人
物損事故	464件	+58件